いただいた記述内容	学校としての意見（文責：校長）
この1年間担任の先生のおかげでとても楽しく充実した学校生活をおくれたようです。ありがとうございました。また、親としても子供の新たな一面を見せてもらい、とても嬉しく思っています。	ありがとうございます。 今後も、子どもたちの成長に向けて職員一同取り組ませていただきます。
学校であったトラブルなどを本人からは聞かず、先生からのご報告で初めて知るということがあったので些細なことでもお電話くださりとても助かりました。ありがとうございました。	ありがとうございます。 今後も保護者の方との連携を密にしながら、子供たちが成長できるように指導や支援をしていきたいと思います。
宿題が全くないので、自主性と言ってもその子その子によるので、決まった宿題を出して欲しい。 5年生にもなると、やらなくていいならやらない、となる子が多いと思う。 夏休みも、ある程度おおまかでもいいので出して欲しい。 クラスによって違うのもどうなのかなと疑問に思う。	家庭学習の進め方については、前期より多くのご意見をいただいております。自分自身でやりたいことを見つけて学習に取り組むことも必要です。一方で、やらなくてもいいのならやらないと思うお子さんがいるという状況もわかります。家庭学習のやり方については、やらなければいけないことはどこまでなのか、本人の選択で行うのはどの部分なのか、学年発達をふまえ、自立した学習ができるようにするために、どのようなステップを踏むとよいのかなど、子供と学校と保護者の中で、共通理解できるようにしていきます。
学級閉鎖などが他クラスであっても報告がほしい。流行っているのであれば　こちらもそれなりの対処ができるため。（マスクをするとか消毒をこまめにするなど）	ご指摘の通り、学級閉鎖の情報は、お子さんの健康を守るための情報の一つとなりえます。何かしらの形でお知らせできるようしていきます。
自主学習を毎日やっていますが、先生も忙しいと思うのですが、確認したよ～見たよ～と分かるサインや印を何もしてくれてない時があり、子供もそうだし、親としてもモチベーションが下がるので、何かしらチェックして欲しいです。今はまだ、今週はここまでやると指示が出ていますので。	子供の主体性を高めるためには、まずは、第三者からの肯定的な評価が大きな影響を与えるものと思っています。それが自信となり、学習への興味・関心も高まることも多いと思っています。自主学習について、学校の確認、見届けは発達段階において必要な時もあります。担任が、何かしらの形で自主学習などの頑張りを確認するよう指導していきます。毎回までとは言えませんが、励ましのコメントを書いたり励ましの声掛けをするよう職員に指導していきます。
学校に行くと、懇談の時の保護者の待合室でも目に見えるほど床がほこりで白く、学校全体の衛生面や、清潔さが保たれていないと感じます。毎日掃除がないことや、きれいな環境でないことは、教育として問題があると思います。すぐに改善して欲しいです。 子どもが賞状をもらったことがあり、自分を認められたことを感じ大変喜んでいました。その後も、色々なやる気に繋がったので、小さな事でもいいのでクラスの中の賞状や、みんなの前で褒めてもらえるような自己肯定感に繋がるような活動を多く取り入れて頂きたいです。 学校からもらえる成績評価ですが、〇だけでは、こどもがどんなふうに成長したか様子が全く分からないので、担任からのコメントをつけて欲しいです。	衛生面についてご心配をおかけしております。清潔な環境、整った環境というのは学ぶ環境として大切だと私も感じております。学校日課を考えると、毎日掃除の時間を確保することは大変難しいのが現状です。「ごみを落とさない。」「落ちているごみを拾う。」など児童と職員とで、清潔な環境や整頓された環境となるよう意識して行動できるようにしていきます。 頑張ったことを認めてもらうことは、子どもたちの自己有用感を高めるために、大きな役割があると思っています。学級や全校などで引き続き、紹介できるようにしていきます。 学校からの評価についても心配をおかけしております。ご指摘の通り、〇だけでは十分伝わらない部分もあります。そのため、直接お伝えできる場として7月と2月に懇談を設けております。ご心配な点がありましたら、お気兼ねなくお尋ねください。学年末の成績評価においては、コメントを入れさせていただきます。

運動場にバスケットゴールを設置して欲しい。 子供達のトイレの便座を温かくしてほしい	寒くなり、冷たい便座に座るのには、勇気がいります。 岐阜市教育委員会に要望していきます。バスケットゴールの設置についても、同じように要望していきます。
今年度は縦割り交流が多く、なかよし遊びでは、高学年の子が中心となって遊びを考えたり、元気タイムには低学年の子と手を繋いで遊んだりする姿がみられ、6年生にとっても最高学年としての役割を学ぶ機会が多く、 色々な経験ができた1年で、とてもありがたく思います。 また、クリスマスに"柳津なかよし祭り"が開催され、子どもたちにとってもワクワクできる日となったようで、とてもいい企画だと思いました。 修学旅行や社会見学でも、自分たちで行き先を考え、タブレットを活用して計画したり、関心させられることばかりでした。 タブレットの活用など、時代に沿った学習方法、デジタル化が進む中、それらをいかに上手く使いこなすかが大切だと思うので、家庭でも声かけをしていきたいです。	学校教育に対するご理解をいただきありがとうございます。異学年交流のよさは、上の学年の子には、下の学年の子をいたわるやさしさが身につくだけでなく、感謝の言葉をもらうことで、自己肯定感や自己有用感の育成にもつながっていくと思います。下の学年の子には、優しくしてもらったことが、自分が高学年になったときの自分の在り方につながっていくものだと思います。また、自分より下の年齢の子に対して、同じようにやさしさをもって接することができる子になると思っています。今回の「なかよし祭」のように、どの学年の子も自分が楽しむだけでなく、運営する側としての役割もあり、自分が役に立っていることの実感にもつながったと思っています。今後もこのような会で子供たちが成長できるよう職員一同で頑張っていきます。 タブレットの活用については、子供たちにとっては一つの文房具となりつつあります。ご連絡いただいたような便利な活用方法がある一方、依存や「わかったつもりになる」など課題も指摘されております。デジタルですべて対応ではなく、課題も踏まえた使い方ができるよう指導していきます。
まだまだ自分で何かを探して、見つけてやる事ができない。これも個人差があると思う。できる子とできない子の差が開きすぎ将来が心配になります。毎日の最低限の課題を出してもらいたい。レベルに合わせての宿題もやる気を出させるひとつだと思う。	家庭学習の進め方については、前期より多くのご意見をいただいております。自分自身でやりたいことを見つけて学習に取り組むことも必要ですし、ご心配されているように自分で何かを差がいて、見つけてやることができないと心配されてることもわかります。家庭学習のやり方については、やらなければいけないことはどこまでなのか、本人の選択で行うのはどの部分なのか、学年発達をふまえ、自立した学習ができるようにするために、どのようなステップを踏むとよいのかなど、子供と学校と保護者の中で、共通理解できるようにしていきます。
運動場にバスケットゴールを設置して欲しい。子ども達のトイレの便座を温かくして欲しい。目標の達成を目指している時もあるし、何もない時もある。学校や地域でも 色々な活動があるが、それが本人の色々につながっているか私自身も分かっていない事が多く、回答、分からないが多くあります。	施設に関するものは、岐阜市教育委員会に要望します。 どのような目標のもと、活動を行っているのか、活動を通してどうだったか、引き続き、ホームページや学年通信、学校だよりを通してお伝えできるようにしていきます。お子さんからも、保護者の方にお話しするよう働きかけていきます。
通学路の設備・整備、通学路の見直しを、積極的に行動を行って頂きたい。県や市、教育委員会・警察に。また、保護者・見守り隊からの意見を積極的に聞いて頂きたい。	通学路の整備や通学路の見直しについて、必要なところがあれば、学校にご連絡ください。自治会と連携して、子供たちの安心・安全のために優先順位をつけ要望したり、学校で対応できるものについては早急に対応します。
柳津小学生に転校してきて運動会というものを行なっておらずとても残念です。やはり体育発表会では物足りなさを感じます。前通っていた小学校や近隣の小学校は再開をしており、次は小学生最後の年ですので柳津小学校も運動会の再開をお願いします。	運動会(仮称)の在り方については、全校での開催を予定しています。コロナ前に全て戻すというわけではありませんが、進め方の詳細について現在検討しています。 全校で行うよさも子供たちに味わえるようにしていきたいです。

タブレットでの宿題もだしてもらうといいかな？	現在も「スタサプ」など宿題の一部をタブレットで行っています。ご指摘のとおり、デジタルは学習記録が残ったり、本人の苦手な部分が分かったりと便利な機能もあります。デジタルのよさも紙での学習のよさもあります。どちらのよさも活かせるよう家庭学習ののサポートががてきるようしていきます。
PTA役員の選出や活動は廃止していだだきたいです。役員会については、わざわざ学校に集まって行う必要性が全く感じられないため、なくしていただきたいです。	PTAの活動については、子供たちの学校生活を豊かにすることにつながっており、学校としては、大変感謝をしております。ご意見については、PTAの方とも共有させていただきます。
先生がいつもあたたかく子どもに寄り添ってくだり、いつも楽しく学校に通うことができています。ありがとうございます。	保護者の方と連携して教育をすることが重要だと思っております。引き続きご理解、ご支援のほどよろしくお願いします。
校庭のジャングルジム滑り台がなくなって残念がっております。ブランコは数に限りがあるので大勢の子が遊べる大型遊具があるといいなと思います。	子どもの怪我を心配して、設置が難しくなっている状況もあります。しかしバランス感覚や運動能力を高めるための遊具が必要なことも事実です。岐阜市教育委員会に要望していきます。
家庭で学校の話をするときに、子どもがよく「やってもやらなくてもいいと先生が言った」と話します。これがとても気になっています。 先生方が実際にされている表現とは違うと信じていますが、子どもは家庭学習や授業で扱ったプリントのやり残しなどについて「やってもやらなくてもいいと言われたからやらない」というスタンスで過ごしています。 もちろん親はやった方が良いと言いますし、できるだけ噛み砕いて説明しますが、まぁ一度言われた（かどうかも怪しい）甘い言葉に靡いて、なかなか聞き入れません。 どうも、やってもやらなくてもいい、強制ではない、やれる子はやろう、というのを、やっても意味がない、やらなくても特に支障はない、というように子どもが捉えてしまっているようです。脳というのは自分の都合のいいように認知するようにできているところがありますね。困りました。 それにしても、これは自主的な学習を応援するという学校の指針からも大きく外れるものではないかと感じます。 少なくともやる気の出る表現ではない気がします。大人でも、やってもやらなくてもいいと言われたことを敢えてやる人ってそんなにいないでしょう。 強制的にやらされる学習よりも自主的な学習のほうが効果があることは認めます。だから強制したくないのもわかります。その結果の「やってもやらなくてもいい」なのでしょう。 しかし、誤解を生んでいます。 そもそも、自主的な学習と強制的な学習の間に大きな溝が横たわっているのと同じように、強制的な学習と何もしないことの間にもとても大きな溝があるはずです。 強制的な学習を避けるあまりに、何もしないでOKなのだと思われてしまっては本末転倒です。	家庭学習の進め方については、前期より多くのご意見をいただいております。自分自身でやりたいことを見つけて学習に取り組むことも必要ですし、ご心配されているように、易きに流れてしまうお子さんの状況もわかります。家庭学習のやり方については、やらなければいけないことはどこまでなのか、本人の選択で行うのはどの部分なのか、学年発達をふまえ、自立した学習ができるようにするために、どのようなステップを踏むとよいのかなど、子供と学校と保護者の中で、共通理解できるようにしていきます。子供たちの意欲を高めるために、大人はどうするとよいのかについては、学級・学年懇談会の話題にし、情報交流ができればとも思います。また、講演会については、PTAの方とも相談して、家庭教育学級などに講師の方を招くことが可能かどうかも検討してみます。 私たちも、子供たちがやる気ができるような指導ができるよう研修を行っていきます。

そこをまだ経験の浅い子どもたちにわかってもらうのは. とても労力のいることだと我が子と話していて思います。 何事も、実感というのは、経験した後に味わうものですから。 子どもたちの自主的な学びのサポートのためには、もう少し丁寧に学校と家庭が連携して、学びの大切さや楽しさを伝えていく必要があるのかなと思います。かといってこちらにはそういったノウハウがありません。 そこで、子どもの意欲を高めるために具体的に大人はどうすればいいのか、先生方と保護者で話せる機会が持てたらありがたいです。 学習面に特化した懇談会のような形でもいいですし、講演会のような形でも良いです。 何がきっかけで学ぶ楽しさを知れるのか。うちの子に響く声かけって何なのか。親ができることって何なのか… すでに年に一度は校長先生のお話を聞く機会がありますが、いろんな方の意見や良い経験を聞く機会が増えたらいいなと思います。 今後ともよろしくお願いいたします。	
関係づくりに取り組まれているのであれば、クラス間を超えてトラブルがあった際に、双方の担任がまず事実確認をしてもらいたいです。 また、叱る、注意、話すのどれにしても、休み時間によく廊下で叱っている先生が呼び出すということは、誰がどう見ても「怒られている」と捉えます。場所や伝え方の手段をもう少し考えてもらいたいです。 元々、関わった子全員に話を聞いてトラブルについて話し合っていたと思いますが、みんなへの聞き取りなく、しかも先生が事情を知らないまま注意されるという流れがあったように思うので、対応の仕方をもう少し考えていただきたいです。	関係づくりに関して、ご心配をおかけしました。クラスを超えたトラブルについては、まずは事実確認を行う姿勢をとっておりましたが、十分でなかったという点について申し訳ございませんでした。また、事実確認の場においても人が通る場所で行えば、他の子の視線が気になりつらい思いをする気持ちもわかります。お子さんへの配慮が十分でなかった点についても申し訳ございませんでした。今回ご指摘を受けましたので、職員にトラブルの解決に向けての事実確認の仕方について、「場所や時間」「聞き方」について改めて指導していきます。ご指摘ありがとうございました。
スマート連絡帳の活用について、不便な点がある。前回登録したメールアドレスが変更出来ない。	システムについて、岐阜市教育委員会に、より活用しやすいように変更できないか要望していきます。
いつもお世話になっております。 子どもが楽しそうに学校に行く姿を見て、それも周りの方々の温かいサポートのおかげだなと日々感謝しております。 先日の引き渡し下校の際には運動場を駐車場として開放をしていただき、とても助かりました。2、3歳の子どもを2人かかえてお迎えに行くのに、カラタンから歩いて向かうには安全性を確保するのが難しいなと不安だったため、運動場開放の柔軟な対応に感謝しております。 本当にありがとうございました。 前期で今後検討となった運動会開催等の詳細は未だないため、どのようになっていくのか気にはなっていますが、子どもたちの小学校生活がよりよいものに、充実したものになるよう願っております。 （全校で活気ある運動会開催を私個人としては期待しております。）	学校運営に関してご理解いただきありがとうございます。また、引き渡しの際、運動場の車の出入りや駐車位置に関して、ご不便をおかけしたにもかかわらず、ご理解いただいたことに感謝いたします。 運動会（仮称）の在り方については、全校での開催を予定しています。コロナ前に全て戻すというわけではありませんが、進め方の詳細について現在検討しています。全校で行うよさも子供たちに味わえるようにしていきたいです。

なかなか学校での出来事を話してくれないのですが、ホームページでその日のことを知ることができ、写真を一緒に見たり、親子の会話にも繋がっていて、とてもありがたいです。 また、長期休みの際の学年通信をスマ連やホームページ掲載だけでなく、紙でも配布していただけたので、夏休みや冬休みの課題や持ち物を子どもと一緒に確認することができたのでありがたかったです。 新たな活動や学習も増え、できることや考え方も成長してきたように思います。高学年へ向けて落ち着いた雰囲気で学校生活を送ることができ感謝しています。	学校の教育活動へのご理解まことにありがとうございます。子供たちの学校での様子を少しでも知っていただくための場としてHPを活用しております。ご連絡いただきましように、ニュースや写真を見ていただき、ご家庭での会話の一つになれば幸いです。 配布文書については、ペーパーレスの時代となってきています。全てを紙とはいきませんことにつきましてはご理解願います。
全学年共通で帰りの会後玄関に集まることを考え直してほしい。	ご指摘ありがとうございます。 学校としてできる交通安全指導が、帰宅する方向が同じ子どうし、できるだけまとまって帰るようにすることだと思っています。特に低学年の子たちにとっては、必要なことだと思っています。他にも、お迎えの車に向かうお子さんと、お子さんを乗せて出発する車の接触も心配しています。ただし、帰りの会後、帰宅までの時間を短くする必要性は感じております。この時間の短縮に努めます。
宿題を出してほしい。自主学習では、やりません。範囲と期限を示してほしいです。	家庭学習の進め方については、前期より多くのご意見をいただいております。家庭学習のやり方については、やらなければいけないことはどこまでなのか、本人の選択で行うのはどの部分なのか、学年発達をふまえ、自立した学習ができるようにするために、どのようなステップを踏むとよいのかなど、子供と学校と保護者の中で、共通理解できるようにしていきます。
授業後の教科書や教材を学校に置いても大丈夫な様に宿題を出したり工夫して欲しいです。 小さい体で重たいランドセルやリュックを背負って通うのは子供体に負担が来てます。 肩が痛くなったり腰が痛くなったり体に負荷がかかっています。 教科書を使わずにタブレットで教科書がみれたり読めたりしたらと思いました。	ランドセルの重さについては、以前より話題となり、教科によっては教科書等を学校に置いているものもあります。タブレットの宿題だけとかドリルだけの宿題とかではなく、タブレットに適した宿題はタブレットで、実際書いて覚えることで身につくものは紙で行うなど、内容に適した宿題となるようにしていきます。

学習支援ボランティアに何度か参加しています。 クラスは数人の生徒の授業態度が悪く、改善がないので、その他の生徒が授業に集中できない環境で勉強している一年間でした。ただ、生徒たちだけが悪いとは思いません。 授業参観と普段の様子は異なりますので、学習支援ボランティアに多くの方に参加していただき、学習サポートと、子供達が落ち着いて授業に集中できるように見届けていけるといいなと思います。他の学校にはない、良い取り組みだと思いますので、また来年度も参加させていただきたいと思います。 毎日家庭学習を提出していますが、頑張ってやっていっても、いつも先生からは『OK』のみで子供は残念な気持ちになっています。 お忙しいとは思いますが、特に頑張った時などは、一言書いていただけると子供達は大喜びすると思います。そして先生からの言葉はまた頑張る力になると思います。 前回の個人懇談では、学習についてお話ししますと言われました。学習のことは日々のテストを見ればわかることなので、学校生活について、例えば友達、係の仕事など先生が毎日子供と接していて感じたことを教えていただきたいなと思います。 児童英語に携わっていましたので、英語の授業で気になった点があります。 子供同士で行うアクティビティーやゲームのやり方がややこしいので、やり方に集中してしまい大事なことが言えていません。 例えば、ペアになって聞き合うアクティビティーでは、まず相手の答えを予想して書き、聞く相手を見つけ、どちらが先に質問するかをジャンケンしたりと、本題にいくまでのプロセスに時間がかかります。 その間に、質問のセンテンスと答え方を忘れてしまっています。 もっとシンプルなゲーム、アクティビティーがいいと思います。英語が苦手な先生もいらっしゃるかもしれませんのでその方がやりやすいと思います。 そして小学生の英語は、もっと楽しく、英語が好きになることに重点をおいた内容になるといいと思いました。 最後に、外国人講師のやる気がないように見受けられます。生の英語が聞けるチャンスですので、ペアやグループでの活動の時には、ただ見回っているだけではなく、子供達の中に入って一緒に活動してもらえるといいなと思います。昨年度のレベッカ先生は元気で明るく熱心でとてもよかったです。	学習支援ボランティアの参加について、多くの時間サポートいただき本当にありがとうございます。教師だけでは対応できない場面において、子供たちへの支援をたくさんいただきました。本当にありがとうございます。学習ボランティアの皆様には、本当に助けていただいていると思っております。学習ボランティアに参加していただける方が増えることを望んでおります。学校からももう少しお願いの機会を多くさせていただきます。 家庭学習の見届けについて、教師の一言が、子供やる気につながったり自己肯定感につながったりすることについて同感です。特に頑張った日のことについては、担任も気づいているはずです。毎回コメント書くことはできなくても、本人に「今日の宿題頑張ったね。」など声掛けをすることできると思います。本人の頑張りを認められる職員になるよう、職員にも指導していきます。 個人懇談の話題については、学校が一方的な説明で終わるのでなく、保護者の方の心配している部分について時間を確保できるようにすることが大切だと思います。お尋ねしたい点について気兼ねなくお尋ねください。懇談以外の場であっても、いつでもご相談ください。 英語の授業の進め方について、ご指摘ありがとうございます。ご指摘のとおり、目的は外国語に慣れ親しみ、コミュニケーションの素地を養うことです。アクティビティのルールが簡潔な方が体験する時間も増えてくると思います。英語学習の進め方について、改めて職員と共有させていただきます。外国人講師の方には、声を掛けさせていただきます。